

## 第5回 アシスト JP1ユーザ会

# Select 開催報告レポート

JP1ユーザ会Selectでは、運用の現場で活躍されている皆様が、日々どのようにJP1を活用しているのか、また更なる運用の効率化や改善のための取り組みについて、お客様同士で共有して頂くための場を提供しています。

開催日：2015年9月16日（水）  
会場：株式会社アシスト

前回に引き続き第5回となる今回は、『JP1の分野別課題についての情報交換』をテーマに、ご利用中のJP1製品分野毎に発生する課題に対して、解決策や回避案などのノウハウを開発元の日立製作所（JP1設計部隊）と共にユーザの皆様と情報交換しました。各社のJP1活用術や運用現場のリアルな課題など、ユーザ様同士で活発な意見交換を実施いただき、また同席した開発元の日立製作所に対しても、利用者の生の声として届けられたことと思います。



株式会社アシスト  
サービス事業部 サポートセンター1部  
岡田 優治

## Session JP1分野別課題のご紹介

これまでのJP1ユーザ会Selectにて、ご参加いただいたユーザ様より頂戴したJP1に対するご意見/ご要望や、弊社の技術支援、教育サービス、サポートセンターへのお問い合わせ等、日々の活動を通して、数多くの「JP1や運用に対する課題」を頂いております。その一部を、解決方法も合わせて弊社JP1サポート担当の岡田よりご紹介いたしました。

ジョブ管理では、開発環境から本番環境への移行に際するお問い合わせやお悩みが多く聞かれ、フェーズ毎にJP1/AJS3で有効活用できるコマンドや機能とそのポイントをご説明いたしました。また、システム監視ではJP1/IMコンソール上にイベントが大量発生してしまう事象(イベントバースト・イベントストーム)に対応するため、強化された製品機能についてご紹介いたしました。



## グループディスカッション

日頃、JP1を活用される会員の皆様で、JP1製品分野毎の課題について話し合っていました。

### A ジョブ管理グループ テーマ：ジョブの実行実績レポートの作成方法、その他

#### ◆ジョブの実行結果の確認をどのようにするか？

前日・当日などの概念を踏まえながらジョブ実行結果をどのように確認するのか。  
(基準時刻の設定、ジョブの隙間を意図的につくることでその時間に確認する、等の運用での回避)

#### ◆マニュアルをもっとわかりやすくしてほしい

項目ごとは細かく記載されているが、組み合わせでの使い方や何を見ればよいか分からない。

#### ◆ライセンス管理の手間をどう改善するか？

ライセンス違反を起こさないためにも、型番とライセンスの紐付等ができる仕組みやサービスがほしい。

発表資料

日立製作所にて  
マニュアル改善を実施  
いただいております。  
今後に乞うご期待！

### B ジョブ管理グループ テーマ：ジョブ定義のネーミングルール、JP1ユーザの管理方法、リリース活用術

#### ◆移行時のユニット命名規則が難しい(何が正解かわからない)

- ・業務毎にわけると、ベンダー様毎に分けてしまう。
- ・ネーミングルールを運用ルールとして決めてしまう。
- ・命名規則を決めすぎるとわかりにくい可能性もある。

アシスト技術にご相談ください！  
最適な方法を一緒に検討しましょう！

#### ◆リリース活用術

サスペンド・リリースなど使わずにひな形をコピーして一日1回実行する形で運用を実施している。  
→人手を介さず実行出来る運用ルールを固めてしまっていてエンハンスを活かせない。

日立製作所にて  
エンハンス項目として  
持ち帰っていただき  
ました。

#### ◆バックアップ/リストアについて

退避・回復を別サーバに移行出来ないということだが、もっとバックアップとリストアをわかりやすくしたい。



◆ライセンスについて

- ・移行期間は1か月くらいは無料にして欲しい。(タムライセンスがあったらいい)
- ・JP1/AJS3-Agentのライト版があったらいい。(JP1から他サーバのタスクだけを起動している)
- ・余剰ライセンスの管理方法。(CPUライセンスなどで余剰が出た場合に移し先がない)

◆バックアップについて

- ・DAをルートジョブネット毎に取得してバックアップとしている。  
→全体をDAでバックアップして、ルートジョブネットはajsprintとajsdefineで実施する。

◆JP1機能/使い方/要望について

- ・カレンダーの逆引き →最近のバージョンでは検索機能が使えるようになった。
- ・排他ジョブの階層超え
- ・ジョブのマスター管理 →臨時ジョブなど、マスタ管理が煩雑になりがち、リンク機能などがあると良い。

ライセンス管理が簡単になるよう、エンハンス要求を続けていきます。



**D 監視グループ**

テーマ：発生した障害に対するノウハウ管理、イベントの大量発生防止対策

◆Windowsイベントログ監視の定義ファイルの文法が難しい

どのフィルターに引っかかっているのかが分からない。チェックの機能が欲しい。  
→自動アクションなども同様で、「なぜ抑止できないのか」といったことが確認できないため、難しい。

◆イベントの管理方法について悩む

Excelで台帳管理では記載漏れなどが発生するため、IM-SSによる管理を利用している。  
→ルーチン処理など人の処理を機械に取り込むことができるとよい。

◆TELstaffのメール通知が多いためイベントが流れてしまう

通知するメールの精査や対処方法について悩む。

◆IM-Viewにある「対処済み」などの利用方法が分からない

定義ファイルの文法についてはお問い合わせが多いです。弊社サポートセンターにご相談ください！



**E 資産管理グループ**

テーマ：スマートデバイス等の管理方法、クライアント操作ログの管理と分析方法

◆スマートデバイス管理

- ・現状のITDMでは、私物のスマートデバイスがネットワークに接続された後、NGなものを遮断する。  
→本来の形としては、Radius認証など利用して「繋がせない」ことが理想。
- ・貸与物品の紛失が多い。「どこで紛失したのか」まで管理が出来るるとよい。  
→貸与ルールを厳密にすることで、紛失を回避することは可能。

◆仮想環境の管理

- ・VDIの場合でも棚卸しは必要。
- ・クラウドの利用を想定すると、IT資産管理はどこを目指すべきか？  
→オンプレ、クラウド双方を合わせて管理出来るようなツールを目指す。

◆その他

- ・棚卸しについて。ネットワークに接続されたことでOKとするか。現物の確認を持ってOKとするか。  
→日立社ではバーコードによる現物管理を厳密に実施。ルール自体は、各社の「決め」となるであろう。

頻りに発生するデバイス側のOSアップデート、機能拡張に資産管理製品側も追いつくよう、引き続きエンハンス要求していきます。



ユーザリテラシーを保つためにも現物確認をお勧めします。



参加された皆様の声

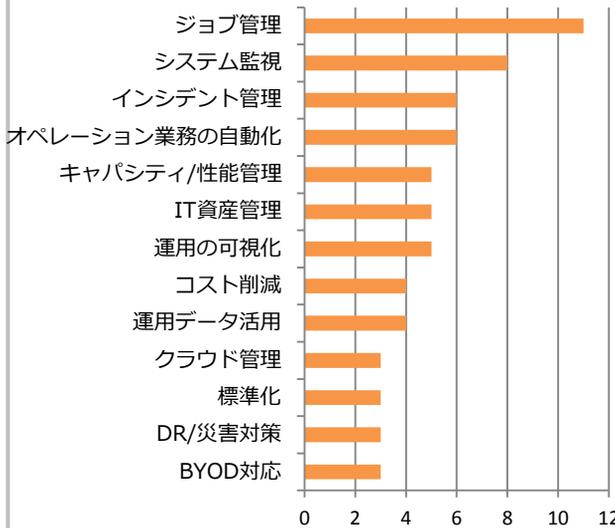
参加したご感想

- 他社ユーザの方々のお話(課題)が聞け、またその解決のアイデアを持っている方がいて、大変おもしろい交流の場になっていることにびっくりした。
- 日頃同じJP1を運用している方々と多岐にわたって意見交換ができたことが収穫になった。
- へビーなJP1ユーザ様のマニアックなユーザ会を想定して会に臨んだが、そこまで使いこなしていなくても納得できるような内容だったので、非常に有意義であった。
- 実務レベルにはいいと思う。マネジメントレベルにはちょっと遠い感じがする。ただ、日常の課題が認識できた。
- 日立様が出来て意見を聞いてくださったのでよかった。

開催テーマについてのご意見

- JP1インストール・セットアップの自動化・標準化
- BCP、システム移行
- 大量ジョブの効率的な運用、複数システムの監視ノウハウ
- サポートセンターに問い合わせが多い内容Best5

システム運用管理に関する課題や今後取り組まれない対応



次回JP1ユーザ会Selectは  
2015年12月11日(金)です!